

3. 地区の概要

■ これまでの整備や近年の動き(主に行政の動き)

- 平成8年～12年にかけて古くからの『城への“みち”』、現代の『暮らしの“みち”』として培われた“みち”を中心に、道路の美装化、集会所の改修、小公園の整備などの一体的な整備を図り、歴史的な資源(まちなみ)を活かした整備が行われました。



《写真 観光案内所「夢創館」》



《写真 児童公園》

- 近年、高取町と奈良産業大学が協力し、高取城をデジタル再現する「高取城 CG再現プロジェクト」が実施され(平成19年3月)、昔の高取城の様子を見ることができるようになった。
- 土佐街道や高取城跡周辺などでは、CGを活用した案内サインなどが設置されている。



©奈良産業大学 高取城CG再現プロジェクト



©奈良産業大学 高取城CG再現プロジェクト



《写真 景観に配慮した舗装》



《写真 CGを活用したサイン》



《写真 高取城跡に設置されたCGの情報が取得できるQRコード》

強み：これまで一定の景観整備が行われてきた。
最近では、かつての城の様子を再現したCGの活用が進む。

3. 地区の概要

■ 対象区域の現状(壱阪山駅・土佐街道周辺)

■ 壱阪山駅周辺



町の玄関口であるが店舗なども少なく、賑わいに乏しい。駅周辺に観光案内所がなく、周遊情報を得にくい。

- ・駅前観光案内所や、観光看板の充実が必要。
- ・ロータリー化や歩車分離が必要。

■ 町家のギャラリー輝



町家を改装しギャラリーとして利用。

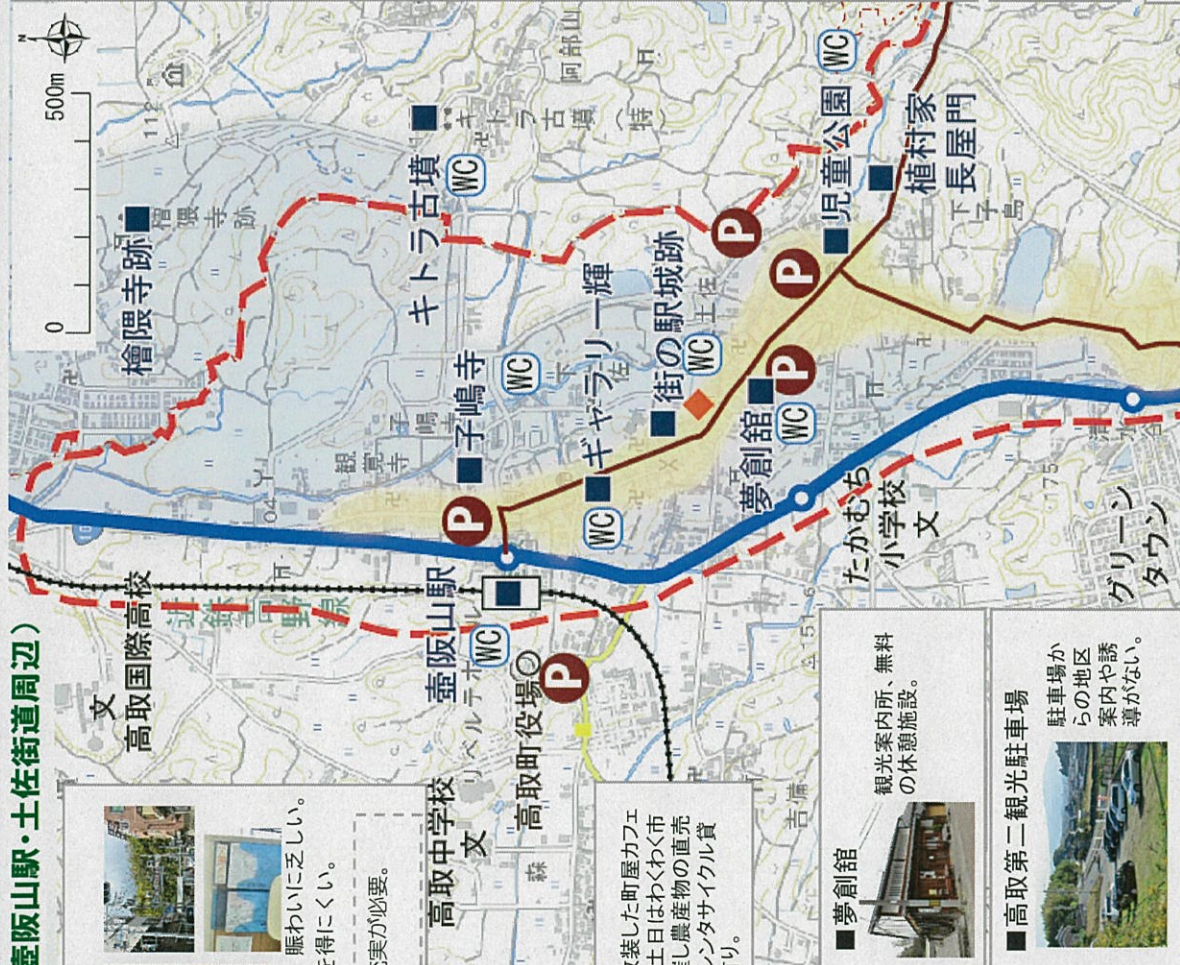
■ 街の駅 城跡



倉庫を改装した町屋カフェがある。土日はわくわく市場を開催し農産物の直売を行う。レンタサイクル貸出所も有り。

凡例

- 路線バス
- MICHINO 走行可能エリア
- 歴史的まちなみ集積地
- 高取城跡コース (車通行可)
- 高取城跡コース (歩行者専用)
- 主な観光施設
- レンタサイクルステーション
- 観光用駐車場
- トイレ
- 対象区域
- 観光案内所、無料の休憩施設。
- 高取第二観光駐車場
- 駐車場からの地区案内や誘導がない。
- 地域会議での住民意見



強み：城下町の趣きを感じられるまちなみが残されている

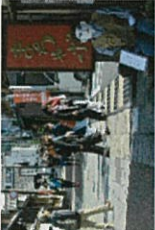
弱み：壱阪山駅は、拠点としての機能が不足している。土佐街道から高取城跡が見えないことから、土佐街道と高取城跡との一体性が感じられない。

弱み：新しいデザインの新建築や空き家の増加。

■ 土佐街道



昔からの町家が残るが、新しいデザインの建物も見られる。景観に配慮した路面整備などが行われている。町家を店舗などに活用する試みも行われる。



普段は落ち着いた雰囲気のままなみだが、イベント時は仮設の店舗なども出て観光客で賑わう。イベント時以外にも花などで軒先を飾る民家も多い。



まちから城跡の石垣などは早えないが、「つし2階建」の町家や水を堰き止め防火用に使用する水路や「駒止め」など城下町の名残が残っている。



菓の神様を祀った土佐恵美須神社や、古い町家建築の薬局や医院などが並び、菓の町としての趣がある。



空き家が増加しつつある。

- ・店の減りまちなみ、空き家が増加している。
- ・昔と異なりまちなみは残っていない。
- ・観光客はまちなみは残っていない。
- ・町から城の石垣を見えるようにしたい。
- ・自動車通行を少なくしたい。

■ 植村家長屋門



旧高取藩の筆頭家老屋敷。県の重要文化財に指定されている。武家屋敷らしいまちなみが特徴。

■ 児童公園 松ノ門



かつては城内にあった「松ノ門」が復元されている。

3. 地区の概要

対象区域の現状(高取城跡周辺)

凡例

- 路線バス
- MICHIMO 走行可能エリア
- 歴史的まちなみ集積地
- 高取城跡コース(車通行可)
- 高取城跡コース(歩行者専用)
- 主な観光施設
- レンタサイクルステーション
- 観光用駐車場
- トイレ
- 対象区域
- 地域会議での住民意見

■ 砂防公園



水飲み場やトイレがある。桜の名所。

■ 水車小屋周辺



路沿いに農地が続く。復元した水車小屋あり。

■ 八幡神社下



駐車場がなく、路上駐車が見られる

■ 猿石



奥飛鳥地域への分岐。

■ 大手道登城ルート



随所に案内サイン、ベンチ、階段などを整備。落石に注意が必要箇所もあり、ネットをはるなど対策もされている。

■ 国見槽



大和平野への眺望が開ける。土佐街道周辺も展望可。ベンチ等も整備。大手道登城ルートからそれた位置にある。

■ 壺阪寺



巨大な御堂や観音像などを車道から見ることもできる。三重塔と礼堂は国の重要文化財に指定。

強み: 土佐街道と高取城跡を結ぶ遊歩道が整備されており、対象区域を周遊することができる。
高取城跡や壺阪寺等に関わる歴史・文化資源が多数点在する。

弱み: 高取城本丸跡のトイレや、本丸へアクセスするための駐車場が整備されていない。案内板等は整備されているが、デザインの統一等はされていない。
本丸跡から、土佐街道方面が見えないことから、土佐街道と高取城跡の一体性が感じられない。
樹木の繁茂により、石垣への影響が懸念される。

高取城跡本丸周辺

■ 高取城跡登城ルート



大手道登城ルートと比べ壺阪寺経由のルートは悪路。

城の解説や周遊支援の案内板が多数設置。デザインも様々で古く読みにくいものもある。

■ 高取城跡本丸周辺



高取城本丸跡には東屋やベンチなどはあるがトイレは無い。

■ 本丸跡からの眺望を遮る支障木有り。



- 城の上から360度の視界を確保
- トイレ整備が必要
- 門の復元
- ハイキングコース整備が必要

■ 樹木の繁茂により石垣への影響が懸念される。




4. 地区の課題整理

■ 対象区域の強み、弱みの整理

強み		弱み	
地域ポテンシャル (資源性や利便性等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 土佐街道や高取城跡等の豊富な歴史・文化資源が存在する 古代から現代までの様々な歴史・文化資源、土佐街道・高取城跡・壺阪寺などの高取町を代表する観光資源、リピーターの多さ、城下町の趣きを感じられるまちなみ ● 全国区の観光地である飛鳥地域に位置する 高取町を含む周辺地域の観光客数の多さ、古くから飛鳥地域として一体的な文化圏を形成 ● 大都市圏からのアクセス性が良い 大阪中心部より約1時間の時間距離、土佐街道へのアクセス性の良さ 	地域ポテンシャル (資源性や利便性等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間の集客力は弱い イベント等には多くの観光客が訪れるが年間を通じると集客力は弱い、周辺地域に対し高取町への観光客数は少ない ● 土佐街道と高取城跡の一体性が感じられない 土佐街道から高取城跡が見えないことから、土佐街道と高取城跡との一体性が感じられない ● 空き家等の増加、樹木繁茂による石垣への影響 新しいデザイン建物の増加、樹木の繁茂による石垣への影響の懸念
まちづくりの状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 土佐街道等では一定の景観整備等が実施されている 一定の景観整備、MICHIMOのサービスエリア内、城の様子を再現したCGの活用 ● 住民主体の活発なまちづくり活動が行われている まちなみ保存や活用などのまちづくり活動、多彩なイベントの実施 	まちづくりの状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光振興のための施設整備等はまだまだ不十分なところがある 徒歩か自動車での移動が主、土佐街道や高取城跡等は距離が離れる、駅前には観光案内所がない(拠点としての機能不足)、総合して町を学べる施設がない、高取城跡周辺には駐車場がない、観光客が町内で利用する金額は少額

■ 対象区域を取り巻く機会、脅威の整理

機会		脅威	
観光客の動向	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良県では観光客数が増加している 奈良県では、近年、観光客が増加傾向 	人口や産業動向	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少、少子高齢化等が進む 人口減少、少子高齢化、産業の後継者不足、まちづくり活動の主体となっている住民の高齢化
周辺地区の整備動向	<ul style="list-style-type: none"> ● 飛鳥地域の周遊に関する計画が進む 高取町、橿原市、明日香村の観光客周遊支援のため、観光案内サイン設置の計画が進む ● 日本遺産に高取町の資産が認定された 「日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち」として、高取町の資産が認定 ● 国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳地区」が開園した 対象区域に隣接する国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳地区」が開園 	住民意向	<ul style="list-style-type: none"> ● 若い人の転出意向が高まっている 日常生活の不便さ等を理由に、10～20代の転出意向が高まっている